

経営比較分析表（令和5年度決算）

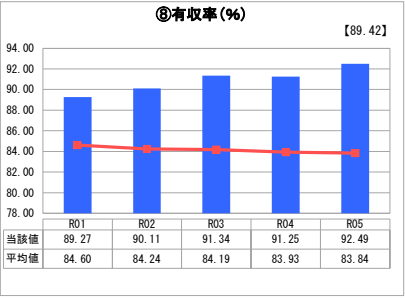
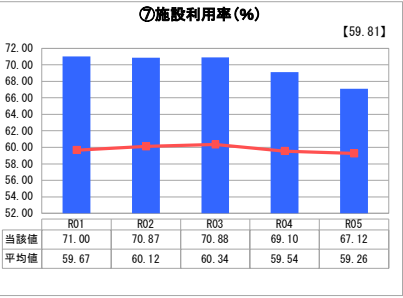
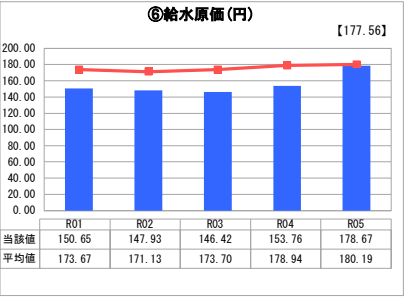
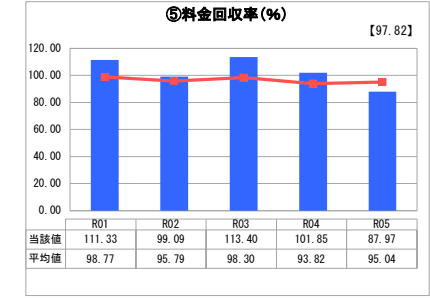
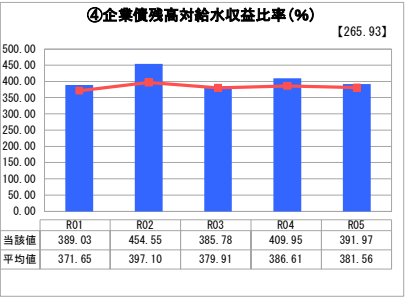
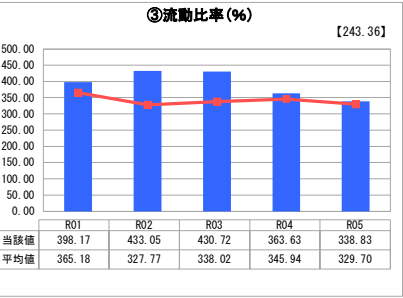
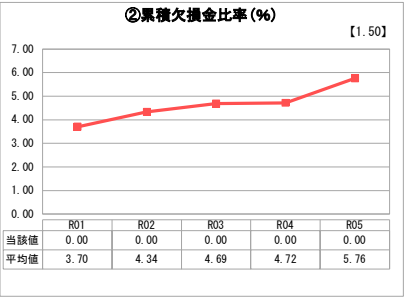
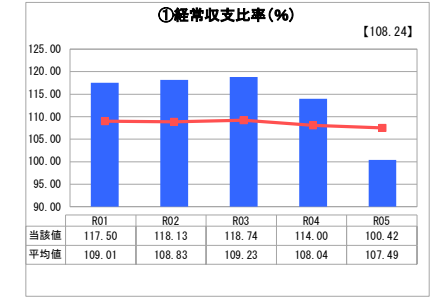
石川県 津幡町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	65.18	98.78	2,805	

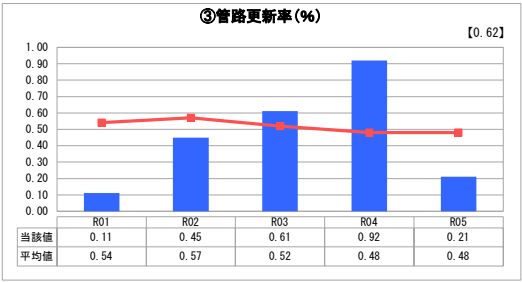
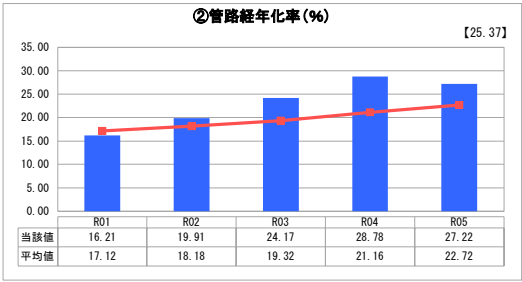
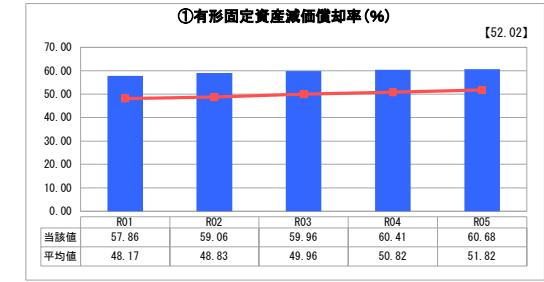
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
37,457	110.59	338.70
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
36,947	74.89	493.35

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は令和6年能登半島地震に係る修繕費の増加により大幅に低下しているものの、辛うじてではあるが100%を上回っている。
料金回収率は100%を下回っているものの、これは物価高騰対策として2か月分の基本料金を免除したためである。
その他の指標については類似団体平均とほぼ同じか、より良好な値となっており、経営の健全性は相対的に高いと考えられる。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率及び管路経年化率は類似団体平均値より高く、管路更新率は類似団体平均値より低い値となっており、老朽管路、施設の更新について、計画的に進めていく必要がある。

全体総括

損益状況は良好であるものの、有形固定資産減価償却率及び管路経年化率は年々上昇してきており、生活に欠くことのできないライフラインの確保のため、健全な経営を維持しつつ管路以外の施設を含め今後も計画的に更新投資を行う。